

第1部 アンケート調査

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、平成25（2013）年9月に発足した第5期の子どもの権利委員会が、市長から諮問された「子どもの成長に応じた育ちの支援について」に関する調査・審議の基礎となる資料を得ること及び川崎市における子どもの権利保障に関する実態を把握することを目的とする。

2 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりである。

(1) 調査地域 川崎市内

(2) 調査対象

子ども調査……………市内に居住する満11歳から満17歳までの男女個人

おとな一般調査……………市内に居住する満18歳以上の男女個人

市立施設等の職員調査……市立施設等の職員の男女個人

(3) 標本数 3,500人

子ども調査……………2,100人

(11・12歳、13～15歳、16・17歳それぞれ700人ずつ)

おとな一般調査……………900人

市立施設等の職員調査……………500人

(4) 抽出方法

子ども調査……………住民基本台帳から2,100人（人口比2%にあたる外国人住民分42人含む）を無作為抽出

おとな一般調査……………住民基本台帳から900人（人口比2%にあたる外国人住民分18人含む）を無作為抽出。

市立施設等の職員……………抽出した施設（学校など）の職員

(5) 調査方法 郵送調査

(6) 調査期間 平成26（2014）年3月

3 回収結果

本調査の回収結果は次のとおりである。

(1) 有効回答数（数字は左が回収数、カッコ内が送付数である。）

子ども調査……………714票（2,100票）

11・12歳 292票（700票）

13～15歳 251票（700票）

	16・17歳	162票 (700票)
	年齢不明	9票
おとな一般調査……………	307票 (900票)	
市立施設等の職員調査……………	275票 (500票)	
総 計……………	1,296票 (3,500票)	

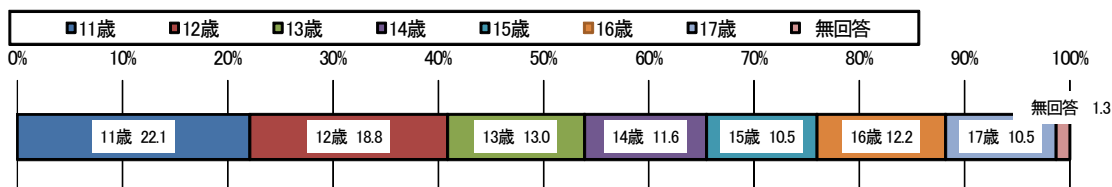
(2) 有効回収率 (数字は左が今回 (平成26 (2014) 年調査) 回収率、
カッコ内が前回 (平成23 (2011) 年調査) 回収率である。)

子ども調査……………	34.0% (41.0%)
11・12歳	41.7% (57.4%)
13～15歳	35.9% (47.6%)
16・17歳	23.1% (33.8%)
おとな一般調査……………	34.1% (46.3%)
市立施設等の職員調査……………	55.0% (76.2%)
総 計……………	37.0% (50.2%)

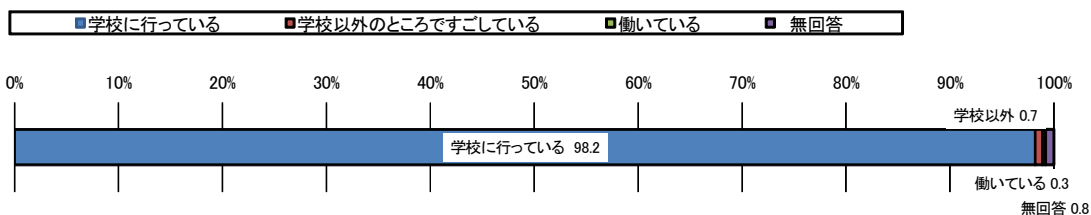
4 回答者 (サンプル) の属性

(1) 子ども 回答数 714票 (発送数2,100票、回収率34.0%)

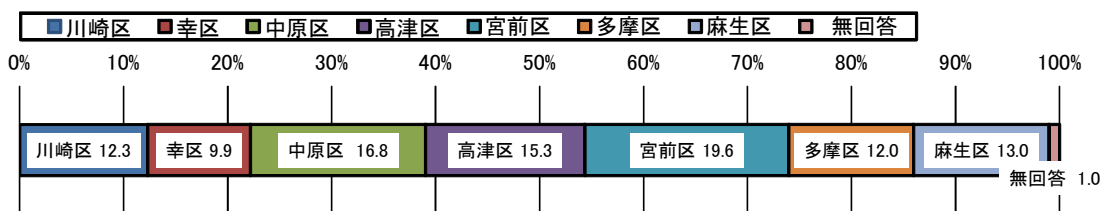
【年 齢】



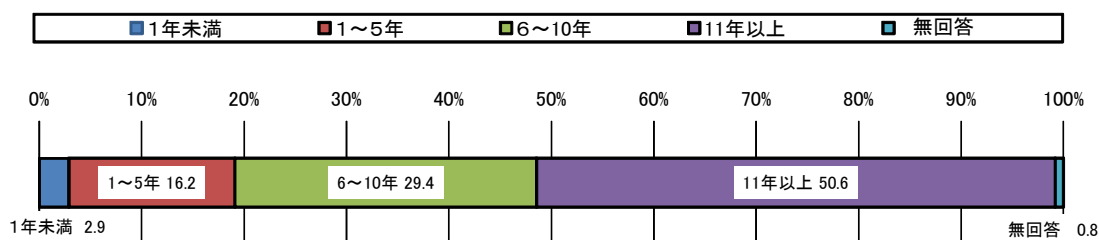
【平日の行動】



【住んでいる区】

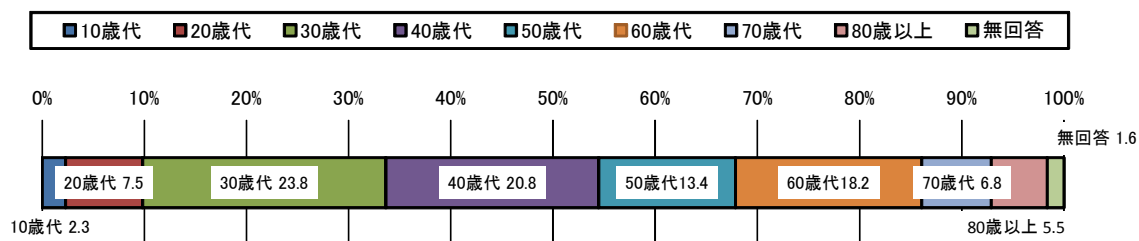


【住んでいる期間】

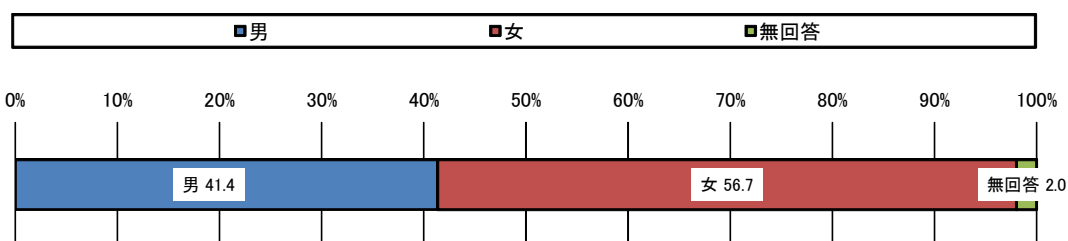


(2) おとな 回答数 307票 (発送数900票、回収率34.1%)

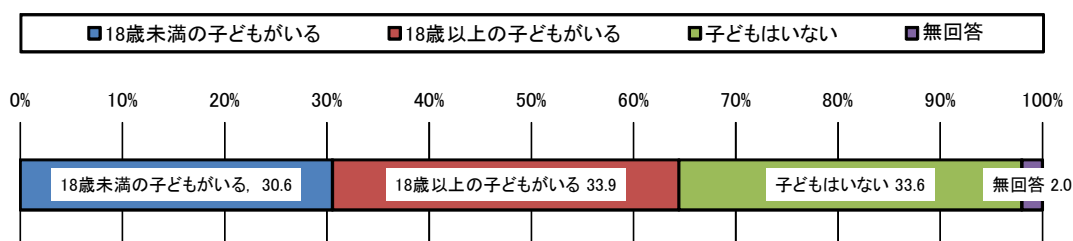
【年 齢】



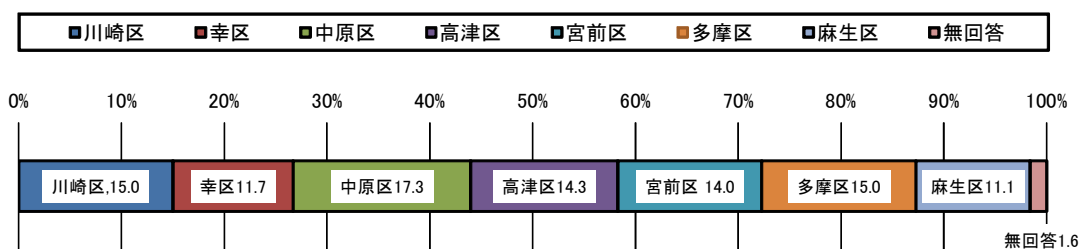
【性 別】



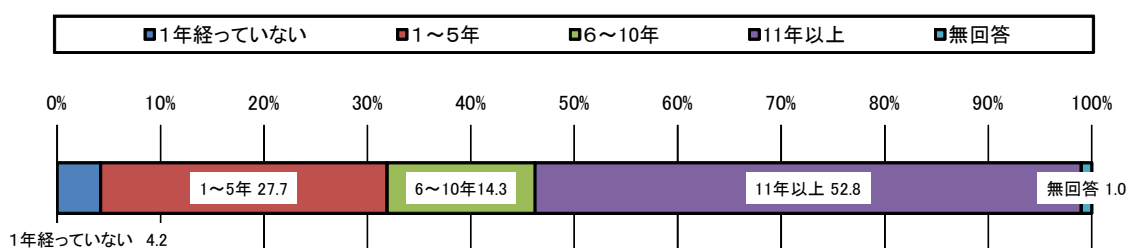
【子どもがいるか】 (調査時点で18歳未満又は以上の子どもがいるか)



【住んでいる区】

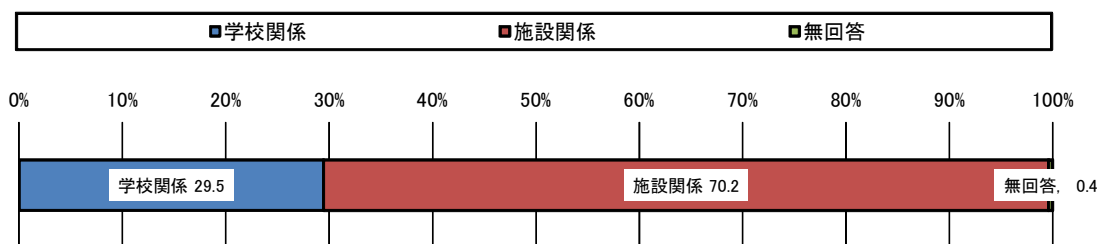


【住んでいる期間】



(3) 職 員 回答数 275票 (発送数500票、回収率55.0%)

【所 属】



【勤続年数】

